



# 「東西線ソーラー発電所」完成

地上駅全体でメガソーラー規模の発電能力を持つ太陽光発電システムが完成しました。

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、2020年度に向けた長期環境戦略「みんなでECO.」を掲げ、東西線地上駅へメガソーラー規模の太陽光発電システムを導入する「東西線ソーラー発電所」計画を展開していますが、**2015年3月28日（土）、西船橋駅の太陽光発電システムが新たに稼働し、東西線地上駅8駅での合計最大出力が1MWとなるメガソーラー規模の「東西線ソーラー発電所」が完成します。**

今回新たに導入した西船橋駅の最大出力は166kW、発電開始後の年間発電電力量は約166,000kWhを見込んでいます。これにより、CO<sub>2</sub>排出量換算で約76t（一般家庭48世帯分）が削減されます。発電した電力は、駅のエスカレーター・エレベーター、照明等の付帯用電力※1に使用し、発電量が多い場合、隣接の駅に融通して利用することが可能です。

また、全8駅での年間発電電力量は約109万kWhを予定しており、これは南砂町駅～西船橋駅で消費する付帯用電力の12パーセント※2に相当し、年間508tのCO<sub>2</sub>排出削減につながります。

これにより、日比谷線南千住駅、東西線（西葛西駅～西船橋駅）8駅、千代田線北綾瀬駅の合計10駅に太陽光発電システムの設置が完了しました。

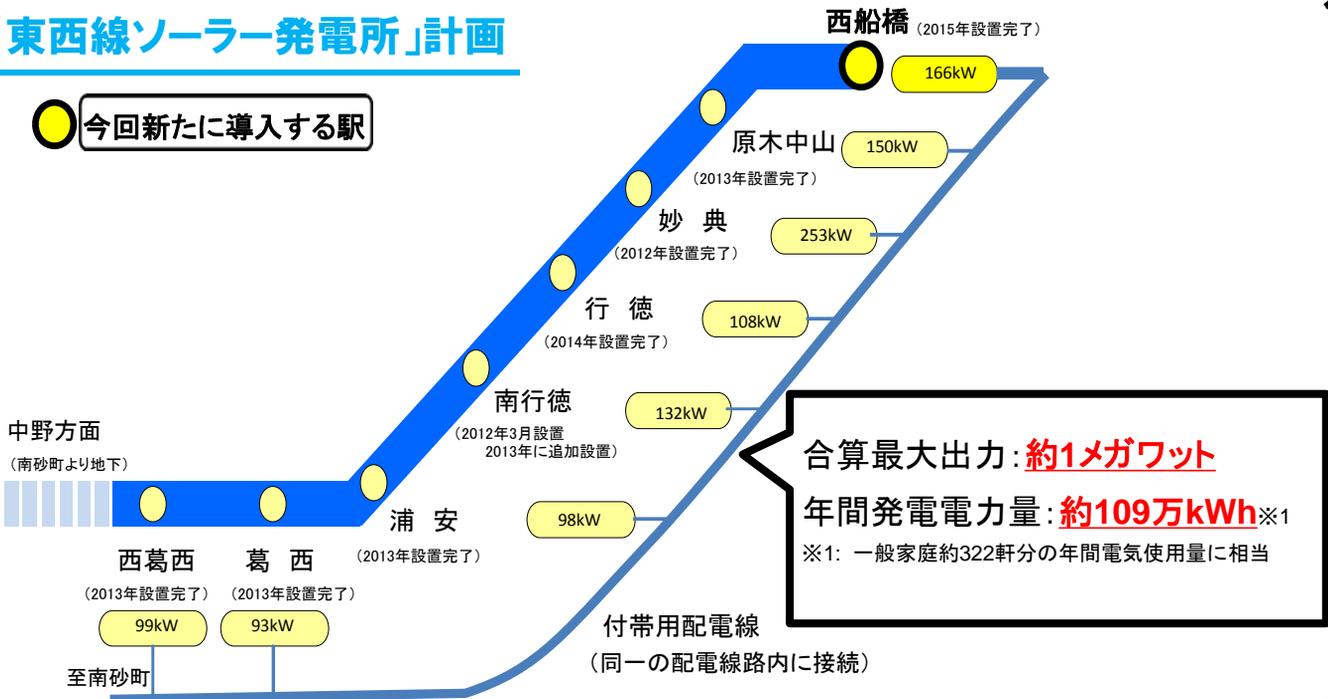
引き続き再生可能エネルギーの利用を進め、環境負荷低減に貢献してまいります。

※1 付帯用電力とは、駅などの照明、バリアフリー施設、空調、信号、通信などの電気設備用電力を指します。

※2 平成23年度に南砂町駅～西船橋駅間で使用した付帯用電力量をベースに算出



## 「東西線ソーラー発電所」計画



《「東西線ソーラー発電所」計画 導入駅の概要》



西葛西駅



葛西駅



浦安駅



南行徳駅



行徳駅



妙典駅



原木中山駅



西船橋駅

駅名	使用開始	パネル面積	発電能力	年間発電量	CO <sub>2</sub> 削減効果
西葛西駅	2013年8月	797㎡	99kW	99,000kWh	45t-CO <sub>2</sub>
葛西駅	2013年8月	616㎡	93kW	93,000kWh	43t-CO <sub>2</sub>
浦安駅	2013年3月	755㎡	98kW	98,000kWh	45t-CO <sub>2</sub>
南行徳駅	2012年3月	925㎡	132kW	132,000kWh	62t-CO <sub>2</sub>
行徳駅	2014年3月	764㎡	108kW	108,000kWh	57t-CO <sub>2</sub>
妙典駅	2012年9月	1,733㎡	253kW	252,000kWh	131t-CO <sub>2</sub>
原木中山駅	2013年8月	1,022㎡	150kW	150,000kWh	69t-CO <sub>2</sub>
西船橋駅	2015年3月	1,164㎡	166kW	166,000kWh	76t-CO <sub>2</sub>